

福島県

磐梯町立磐梯中学校 [2年生] 2020年11月20日 (金)

●講師

主講師:早坂 睦子(PFCアドバイザー)
東北支社:千葉 聖奈

●授業の様子

- ・中学校用テキストと年賀はがきを使用し、年賀状の書き方の授業を行いました。
- ・事前に送りたい相手の郵便番号・住所・氏名を調べてきてもらいました。
- ・2時限目には表面の書き方(敬称のつけ方など)を学び、テキストに下書きした後実際にはがきに記入し、自身の名前の頭文字の消しゴムはんこを作成しました。
- ・3時限目には裏面の書き方(前文・本文・末文)を学び、テキストに下書きした後実際にはがきに記入し、作成した消しゴムはんこを押したり好きな絵を描いたりして、はがきを完成させました。



茨城県

石岡市立国府中学校 [2年生] 2020年12月8日 (火)

●講師

主講師:諏訪 昌彦(八郷郵便局 局長)
見学者:坪井 毅(石岡守木町郵便局 局長)
見学者:志岐 知洋(高浜郵便局 局長)
見学者:櫻井 敏行(小幡郵便局 局長)
見学者:小崎 睦(石岡自由ヶ丘郵便局 局長)

●授業の様子

- ・中学校用テキストと年賀はがきを使用し、年賀状の書き方の授業を行いました。
- ・毎年夏に職場体験でお世話になった地元企業や商店様に「お礼状」を書く授業があったが、コロナ禍で中止となった。そのため、今年は異動された1年の時の担任の先生に「年賀状」で新年の挨拶と近況等を書く授業に変更しました。
- ・現存するものとして、年賀状と考えられているものが奈良時代であることを紹介し、脈々と受け継がれている手紙文化の歴史について伝えました。
- ・風景印や様々な種類のはがきを紹介しました。
- ・手紙を書く決まり事「頭語・結語等」や以前公立高校入試で手紙の書き方について出題されたこと等を伝えました。
- ・SNSとの比較をし、それぞれの良い点を伝えました。その中で手書きの文字から、お便りを出す相手のことを考えながら書いた気持ちや思いが伝わるところが手紙の良さであることも伝えました。



神奈川県

横浜市立藤の木中学校 [個別支援学級] 2020年11月25日 (水)

●講師

主講師:田中 一徳(南関東支社 主任)

副講師:村井 文(南関東支社 係員)

●授業の様子

・中学校用テキストと年賀はがきを使用し、年賀状の書き方の授業を行いました。

表面

・年賀はがきの特徴(くじ付き、丑の絵が額面に描かれている)を説明しました。

・「おたよりが届くまで」を学習し、ポストに投函されたお便りは、たくさんの郵便局員の手に渡り相手に届くため、表面の明確な記載が重要ということを伝えました。

・年賀はがき以外にも、特殊切手やご当地フィルムカードなど様々な郵便商品が販売されていることについても触れ、興味を持ってもらえるような授業を展開しました。

・黒板への貼り付け教材を使用し、書く順番、大きさ、位置、親しい相手でもあて名には「様」をつけるよう説明しました。

・住所は縦書きのため漢数字を使用することを説明しました。

・手紙の表面を完成させた後、裏面にするとき、上下逆にするのではなく、ページをめくるように裏にすることを説明しました。

裏面

・あいさつの末尾は「。」をつけないことを説明しました。

・前文、本文、末文で構成されていて、それぞれに内容が決まっていることを説明しました。

・消しゴムはんこを押印し、紙ポストに投函し授業を終了した。消しゴムはんこを今後も使って、たくさんの人に年賀状を書いてほしいと伝えました。

・元旦の意味が1月1日の午前中のことであることを分かりやすく説明しました。

新潟県

小千谷市立千田中学校 [3年生] 2020年11月24日 (火)

●講師

主講師:清水 章子(PFCアドバイザー)

副講師:須貝 俊大(岩船郵便局 局長)

信越支社:木村 実弦

●授業の様子

・中学校用テキストと年賀はがきを使用し、年賀状の書き方の授業を行いました。

・1時限目にあて名面、2時限目に文面を作成しました。

・消しゴムはんこは非常に好評でした。

・黙々と作成に取り組み、すべての生徒が時間内に作成できました。